

2 0 2 3 年 度

事 業 報 告 書

収 支 決 算 書

自 2 0 2 3 年 4 月 1 日

至 2 0 2 4 年 3 月 3 1 日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2023年度事業報告書

I. 総括

2016年8月、日本財団 TOKYO 展 2020(任意団体)として設立、2016年10月3日に一般財団法人に移行した。2017年4月、これまで以上に全ての人が共に生活できる社会の実現をより一層加速させるため、新たに舞台芸術公演の開催を事業内容に加えることとし、団体名称を「一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」に変更した。

一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS の設立から7年目にあたる2023年度は、以下の事業を実施した。

- A. 多様性をテーマにした舞台芸術のプログラムでは、音楽、ダンス、演劇など様々な企画による舞台芸術のシリーズ「True Colors Festival」の一環として、「True Colors SPECIAL LIVE 2024」及び「True Colors DANCE 2024」を実施した。2022年度までを2020オリンピック・パラリンピック関連事業の一区切りとして、2023年度より新たなフェーズへと舵を切り、障害のある/なしに関係なく、中高生を中心とした学生がダンスを通して1つの舞台を一緒に創り上げる共創プロジェクト「True Colors DANCE 2024」を新たに実施した。
- B. 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の事業内容や障害と福祉を取り巻くトピックを広く周知するための情報発信を実施した。
- C. ビジュアル・アート関連事業では、2022年度「第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を2023年度にかけて開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からこれまで中止していた関連イベントや授賞式を実施した。
- D. 2023年度期中において、日本財団より滋賀県立美術館へ2010年のアール・ブリュット・ジャポネ展作品群が寄贈された。この作品群の2024年度以降の巡回展実施のための、企画・検討・調整を行い、額装や修復のほか、展示什器の製作、動画製作などを実施した。

II. 実施事業の概要

A. 「多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業」の企画・立案・実施

2023年度より新たなフェーズへと舵を切り、障害のある/なしに関係なく、中高生を中心とした学生がダンスを通して1つの舞台を一緒に創り上げる共創プロジェクト「True Colors DANCE 2024」を新たに実施した。また、True Colors Festival として約1年半ぶりの一般向けの催しとなる「True Colors SPECIAL LIVE 2024」をダンスプロジェクトの発表の場として位置付けたことで、新進アーティスト・新しい学校の

リーダーズの協力を得ると共に、参加学生たちに大舞台に向けたリハーサルの間としての動機付けを行った。True Colors DANCE 2024 を目玉として行った「True Colors SPECIAL LIVE 2024」ものべ2万人近い申し込みと2700名を超える来場者を得て開催することができた。

a. 「True Colors DANCE 2024」

時期 2023年12月9日(土)～2024年3月7日(木)：全11回

場所 都内新宿村スタジオ、NHK放送センタースタジオ、NHKホール

内容 「ダンスで福祉をデザインする」ことを掲げる「SOCIAL WORKEERZ (SWZ)」と世界的ダンサー「Miyu」が振付やメンターとして牽引しながら、障害のある学生ダンサーや高校ダンス部が都内のスタジオでリハーサル・ワークショップを実施した。高校ダンス部向けフリーマガジン「ダンスク」による動画やwebレポートを公式の密着メディアとして位置づけて学校関係者への周知をはかるとともに、公式特設ウェブサイトやSNS、YouTubeを通じてプロジェクトを幅広く発信した。

参加者数 80名（出演者34名、引率者・サポート46名）

出演者内訳 障害のある学生10名、高校ダンス部学生16名、Miyu+SWZ8名、新しい学校のリーダーズ4名

引率者・サポート内訳 手話通訳5名、プロジェクト指導メンバー4名、プロジェクト協力ダンサー4名、保護者及びダンス部顧問12名、学生ボランティアによるヘアメイク協力16名（資生堂美容技術専門学校学生13名、引率者3名）、当事者カメラマン撮影協力5名（弱視の中高生カメラマン2名、保護者及び引率者3名）

主 催 一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

助 成 日本財団

企画制作 株式会社 ODORIBA/SOCIAL WORKEERZ

企画協力 ダンスク！（株式会社ディーエスケイ）

ヘアメイク協力 資生堂美容技術専門学校

撮影プロジェクト協力 株式会社 QD レーザ

b. 公演「True Colors SPECIAL LIVE～超いろとりどり！音楽・ダンスライブ～」

時期 2024年3月7日(木)

場所 NHKホール（東京都渋谷区）

内容 「ダイバーシティの今を体感する音楽ライブ」として、舞台も客席も障害の有無や種別を問わず多様な人々が集い、楽しめることを目指したイベントを実施した。障害のあるパフォーマーを中心に、知名度の高いアーティスト・タレントも出演し、音楽やダンス、トークを主軸に構成した。出演者同士のコラボレーションを中心に構成し、フェスティバルの趣旨、障害

を含めたアーティストの特性、手話パフォーマーや手話通訳者、各種の鑑賞サポートを来場者に知ってもらえるよう工夫を行った。なお、この模様は、2024年3月17日にNHK Eテレにおいて特別番組として放送された。

来場者数 2,752名（うち、鑑賞サポート席利用127名）

応募総数 件数：10,930件、19,525人分

主 催 一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

助 成 日本財団

企画制作 株式会社NHKエンタープライズ

後 援 日本障害フォーラム

協 賛 パイオニア株式会社

協 力 株式会社QDレーザ（鑑賞サポート）

c. SNS（X(Twitter)、Instagram、TikTok）の活用による情報発信

時期 2023年4月～2024年3月

場所 オンライン

内容 これまでX(Twitter)、Facebook、Instagram等のSNSを活用した情報発信を行ってきたが、2023年度は国内向けに焦点を絞りX(Twitter)及びTikTokを活用し、True Colors SPECIAL LIVE、True Colors DANCE等の各事業を横断的に情報発信した。また、オンライン上でのつながりとして、DANCEプロジェクトにおいて「踊ってみたキャンペーン」を実施し、プロジェクト参加者以外の共感者を生み出す仕組み作りを行った。その他にもアンケート、プレゼントなどのフォロワー参加型企画を実施し、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）に触れ、考える機会を設けた。

投稿回数 延べ総数164回（X(TWITTER)、Instagram、TikTokの合計）

「踊ってみたキャンペーン」 123件（TikTok 65件、Instagram 58件（重複14件））

TCF公式X(TWITTER) フォロワー数 31,430人（2023年3月末）⇒41,563人（2024年3月末）

B. 情報発信

「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の事業内容や障害と福祉を取り巻くトピックを広く周知するための情報発信を実施した。

a. Webメディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」

「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」のメインサイトとして、取材・企画制作記事掲載を中心に、当団体実施イベントや情報を伝えるページを随時更新公開した。

今年度は企画記事31本を制作・公開した。関係イベントなどのニュース記事

48 本を作成・公開した。また、公開済みの 7 本の日本語記事を英訳し公開した。

年間総訪問者数 延べ 184,358 人 (2023 年 3 月末)
⇒ 延べ 211,530 人 (2024 年 3 月末)
ページビュー数 218,030PV
⇒ 353,334PV (2024 年 3 月末)

視覚障害・精神障害・発達障害・肢体不自由・聴覚障害の当事者たちと合同レビューを行い、より実地的な web アクセシビリティの改善及び合理的配慮を確保した Web サイト運営と発信のためのリサーチを行った。

b. ソーシャルメディアとの連携

Facebook、Instagram、X(Twitter)と Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を連動させ、情報の拡散に努めた。今年度からは、10 代後半から 20 代の若い層への発信を目的として、ソーシャルメディアと TODAY の連携強化のために、若者への訴求力が高く Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」との親和性も高い Instagram を中心として、ストーリーズの運用開始、フィード画像のデザイン強化や投稿内容の刷新などを行った。SNS のフォロワー数推移は以下のとおり。

・ Instagram 投稿数 154 件 (フィード・ストーリーズ合計)
フォロワー数 3,439 人 (2023 年 3 月末)
⇒ 3,899 人 (2024 年 3 月末)

c. 「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」の発行

フリーペーパー「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」は、時代の変化に合わせて 4 年ぶりのフルリニューアルを実施し、タブロイド判から B5 冊子とコンパクトサイズに変え、14 号と 15 号を発行した。普段、障害やアートとは縁遠い 10 代後半から 20 代の若い層にも興味を持って気軽に手に取ってもらえるような訴求力のあるテーマ設定、紙面構成、デザインを意識して制作した。PAPER 紙面と SNS を効果的に連携させ、読者の意見や参加意識を引き出す仕組みを構築した。また、バックナンバーから最新号までの誌面を Web 上において PDF で閲覧できるようにすることで、より多くの人に情報を届け、読者との繋がりを深めることができるようになった。

■ DIVERSITY IN THE ARTS PAPER 14 特集：「ゲーム？」

発行日：2024 年 1 月 31 日
発行部数：15,000 部
印刷仕様：B5 版 32 ページ

■ DIVERSITY IN THE ARTS PAPER 15 特集：「おはなし」

発行日：2024年3月25日

発行部数：15,000部

印刷仕様：B5版32ページ

企画・発行元：一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

編集：株式会社 MUESUM

デザイン：株式会社 UMA design farm

各号とも全国各地の文化施設、福祉施設、学校、書店、カフェ、イベント会場等に発送して配架・配布協力をしてもらおうと同時に、個人や新規の配架協力希望者などに発送対応した。両号ともプレゼント付き読者アンケートや無料発送キャンペーンを実施し、PAPERの発送先が昨年度より約150件増加し、SNSの連動企画などによってSNS上での読者コメント数等がこれまでに比べて約4倍へ増加した。

d. メールマガジンの配信

年間月1回のペースで計12回、メールマガジンを配信した。開封率は平均45.7%となった。

配信ユーザー数

延べ33,587ユーザー(2023年3月末)

⇒ 延べ33,907ユーザー(2024年3月末)

メールマガジン登録アドレス数 2,866件(2023年3月末)

⇒ 2,804件(2024年3月末)

e. ポッドキャストの配信

音声記事コンテンツ「RADIO インクルホイ！」の開始とともに新たにSpotify、Apple Podcast、Amazon Podcastからも配信を始動させた。

C. 障害のある人によるアート活動の支援事業

障害のある人にアート活動の機会を提供し、アーティストの発掘、支援を行い、社会に発信することを目的に、障害のある方を対象にアート作品の公募、審査、展覧会及び授賞式を2022年度より2023年度にかけて実施したほか、日本財団の旧収蔵作品による巡回展の開催企画についての検討を実施した。

a. 「第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」授賞式及び展覧会

2022年度(第5回)において選出された作品を展示した展覧会について、東京、横浜、大阪会場において、2022年度から2023年度にかけての日程で開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年度までは関連イベントや授賞式等の中

止していたが、新型コロナ禍の一定の収束を受けて、阪急うめだ本店（大阪）において、授賞式及びトークセッションを実施した。

(1) アート作品の公募

募集期間 2022 年 6 月 15 日(水)～6 月 30 日(水)

募集内容 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。

応募点数 1 作者につき 3 点以内

出品規格 絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。
素材やテーマは自由。

平面作品 縦 200 cm×横 120 cm以内

立体作品 高さ 200 cm×150 cm×奥行 150 cm 重量 50 kg以内

(2) 公募作品の審査・選考

審査員

秋元雄史 東京藝術大学 名誉教授

上田バロン FR/LAME MONGER 代表、アーティスト、イラストレーター

エドワード M. ゴメズ brut journal 創刊者 兼 編集長

中津川浩章 美術家、アートディレクター

永野一晃 写真家

望月虚舟 書家

審査方法

＜一次審査＞ 国外応募は 2022 年 7 月下旬、国内応募は 8 月中旬に審査員による書類（写真）審査を実施

＜二次審査＞ 審査員立会いのもと、2022 年 10 月 23 日に一次審査通過作品の現物審査を実施。審査員賞/海外作品賞/入賞/佳作併せて 128 作品を選出

二次審査（現物審査）実施日 応募作品数 2,246 作品（国内応募 2,079 作品、国外応募 167 作品）

(3) 授賞式及び展覧会の開催

2022 年度（第 5 回）において、選出された作品を展示した展覧会及び授賞式を実施した。

- ・ 授賞式・トークセッション

開催日 2023 年 4 月 15 日(土)

会場 阪急うめだ本店 9 階 阪急うめだホール

- ・ 展覧会（開催）

名称 「第 5 回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

共催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）
協力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ
Bunkamura（東京会場） 阪急うめだ本店（大阪会場）
展覧会アートディレクター 中津川浩章（美術家／アートディレクター）
会場 <東京会場>
会期 2023 年 3 月 15 日（水）～26 日（日）
時間 10：00～19：00（3 月 15 日（水）は 15：00 開場）
※15 日（水）13：00～15：00 は報道関係者向け内覧会開催
会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery
<横浜会場>
会期 2023 年 3 月 29 日（水）～4 月 2 日（日）
時間 9：30～18：00（4 月 2 日（日）は 17：00 まで）
会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール
<大阪会場>
会期 2023 年 4 月 12 日（水）～4 月 17 日（月）
時間 11：00～19：30（4 月 17 日（月）は 16：00 まで）
会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール
内容 <東京会場・横浜会場・大阪会場>
第 5 回入選作品の中から 87 点の展示
受賞作品（9 点）、入賞作品（53 点）、
国外佳作作品（13 点） 別枠作品（12 点）
来場者数（延べ人数） 東京会場：5,896 名 横浜会場：971 名
大阪会場：2,200 名

(4) その他（制作完了）

- ・ 図録制作（600 部※第 5 回入選作品の掲載）
- ・ 各種チラシ制作

b. 「アール・ブリュット・ジャポネ展作品群の巡回展事業準備

2023 年 8 月に日本財団より滋賀県立美術館へ 2010 年のアール・ブリュット・ジャポネ展作品群の寄贈を行った。この作品群に関する 2024 年度以降の巡回展実施のための、企画・検討・調整を行い、巡回展実施に向けての額装や修復のほか、展示什器の製作、動画製作などを実施した。また、2024 年度以降の巡回展の開催について、北海道立函館美術館、北海道立近代美術館、沖縄県立博物館・美術館、熊本市立美術館等と交渉や調整を行った。調整の結果、2024 年度以降も北海道立函館美術館、沖縄県立博物館・美術館において 2025 年度開催に向けて継続的に調整を行っていくことで合意した。

(1) 内容

- ・ マット装 253 点
- ・ フラットニング等 202 点
- ・ 額装 240 点
- ・ 巡回展仕様の展示什器の製作 什器・アクリルケース等 300 点
- ・ 作家紹介動画の製作 4 本
石野敬祐（しょうぶ学園/鹿児島）、伊藤峰尾（はじまりの美術館/福島）、
木村茜（グロー/滋賀）、佐々木早苗（るんびにい美術館/岩手）
- ・ 2025 年度巡回展開催先の検討

III. 総務報告

1. 評議員・役員に関する事項

1. 評議員

吉倉和宏 2020年7月27日再任 日本財団常務理事

菅井明則 2020年7月27日再任 笹川平和財団常務理事

中西由郎 2020年7月27日再任 元日本ゲートボール連合専務理事

2. 理事

佐藤英夫(理事長) 2023年11月30日就任 笹川保健財団理事長

小澤 直 2022年6月29日再任 日本財団パラスポーツサポートセンター常務理事

菅原悟志 2022年6月29日再任 ブルーシー・アンド・グリーンラド財団理事長

3. 監事

山田恵一郎 2022年6月29日就任 笹川平和財団部長

以上 2024年3月31日現在

2. 評議員会・理事会開催

(1) 理事会

2023年6月30日開催（書面）

- 1) 2022年度事業報告書案承認の件
- 2) 2022年度決算報告書案承認の件
- 3) 就業規則の修正に関する件
- 4) 評議員会開催の件

2023年8月31日開催（書面）

- 1) 船の科学館に設置した設備（資産）の処分・除却について

2023年11月11日開催（書面）

- 1) 評議員会開催の件
- 2) 理事会開催の件

2023年11月30日開催

- 1) 理事長の選任の件
- 2) 理事長に支払う報酬額について

2024年3月26日開催

- 1) 2024年度事業計画案について
- 2) 就業規則変更案について
- 3) 旅費規程変更案について
- 4) 業者選定に関する手続きについて

(2) 評議員会

2023年6月30日開催（書面）

- 1) 2022年度事業報告書案承認の件

2) 2022 年度決算報告書案承認の件
2023 年 11 月 30 日開催
1) 理事の選任について

4. コロナ禍における事務局体制

2022 年 9 月からテレワークを併用しながらもほぼ通常勤務体制になり、2023 年 4 月以降もほぼ同様の体制で業務を行った。職員の出張やイベントの実施時においても、PCR 検査等は実施せずコロナ禍以前の状態に戻った。

5. 職員について

2023 年 4 月、職員 5 名との雇用契約を更新した。加えて、2023 年 4 月、12 月に各 1 名ずつ計 2 名を有期契約職員として採用した。

なお、2023 年 3 月に職員 1 名が退職した。

2023年度収支決算書

2024年3月期決算の前提条件

2023年4月～2024年3月

■事業費・管理費組替計算根拠（明細別紙）

・ 事業費の比率		91.7 %
・ 管理費の比率		8.3 %

■正味財産増減計算書内訳表

・ 受取助成金の配分

事業費（事業会計）		100.0 %
管理費（法人会計）		0.0 %

以 上

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	156,898	548,681	-391,783
普通預金(三菱-虎ノ門)	1,212,426	1,212,426	0
普通預金(三菱-本店)	179,029,238	177,520,726	1,508,512
普通預金(みずほ-神田)	20,742,416	21,088,993	-346,577
普通預金(郵貯-神田錦町)	142	117	25
普通預金(住友-神田)	1,650,328	1,650,768	-440
普通預金(楽天-第二営業)	214,809	214,807	2
未収金	0	0	0
仮払金	0	0	0
預け金	60,259	62,946	-2,687
前払費用	1,303,918	1,303,918	0
立替金	0	40,000	-40,000
流動資産合計	204,370,434	203,643,382	727,052
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産※	3,000,000	3,000,000	0
普通預金(郵貯-神田錦町)			
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 固定資産			
有形固定資産	0	347,046,156	-347,046,156
固定資産合計	0	347,046,156	-347,046,156
(2) その他固定資産			
敷金	4,158,000	4,158,000	0
その他固定資産合計	4,158,000	4,158,000	0
固定資産合計	7,158,000	354,204,156	-347,046,156
3. 特定資産			
事業基金	704,926,342	927,374,705	-222,448,363
特定資産合計	704,926,342	927,374,705	-222,448,363
資産合計	916,454,776	1,485,222,243	-568,767,467
II 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	149,701,448	6,978,510	142,722,938
預り金	534,158	1,312,089	-777,931
仮受金	45,960,566	174,575,571	-128,615,005
流動負債合計	196,196,172	182,866,170	13,330,002
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	196,196,172	182,866,170	13,330,002
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(内基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(内特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	717,258,604	1,299,356,073	-582,097,469
正味財産合計	720,258,604	1,302,356,073	-582,097,469
負債及び正味財産合計	916,454,776	1,485,222,243	-568,767,467

※基本財産については、これまで郵便貯金口座で管理、指定正味財産において基本財産に充当していたが、定款第5条、第6条に基づき、基本財産としてより明確化することとした。

貸借対照表内訳表

2024年3月31日現在

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	156,898	156,898
普通預金(三菱-虎ノ門)	0	1,212,426	1,212,426
普通預金(三菱-本店)	175,448,653	3,580,585	179,029,238
普通預金(みずほ-神田)	20,742,416	0	20,742,416
普通預金(郵貯-神田錦町)	0	142	142
普通預金(住友-神田)	1,650,328	0	1,650,328
普通預金(楽天-第二営業)	214,809	0	214,809
未収金	0	0	0
仮払金	0	0	0
預け金	0	60,259	60,259
前払費用	0	1,303,918	1,303,918
立替金	0	0	0
流動資産合計	198,056,206	6,314,228	204,370,434
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産 普通預金(郵貯-神田錦町)	0	3,000,000	3,000,000
基本資産合計	0	3,000,000	3,000,000
(2) 固定資産			
有形固定資産	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
敷金	0	4,158,000	4,158,000
その他固定資産合計	0	4,158,000	4,158,000
固定資産合計	0	7,158,000	7,158,000
3. 特定資産			
事業基金	702,887,797	2,038,545	704,926,342
特定資産合計	702,887,797	2,038,545	704,926,342
資産合計	900,944,003	15,510,773	916,454,776
II 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	148,684,796	1,016,652	149,701,448
預り金	0	534,158	534,158
仮受金	24,781,458	21,179,108	45,960,566
流動負債合計	173,466,254	22,729,918	196,196,172
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	173,466,254	22,729,918	196,196,172
III 正味資産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	3,000,000	3,000,000
(内基本財産への充当額)	(0)	(3,000,000)	(3,000,000)
(内特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	727,477,749	-10,219,145	717,258,604
正味財産合計	727,477,749	-7,219,145	720,258,604
負債及び正味財産合計	900,944,003	15,510,773	916,454,776

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①事業収益	3,051,310	1,342,189,877	-1,339,138,567
受取助成金	2,921,310	1,341,743,877	-1,338,822,567
事業収益	130,000	446,000	-316,000
②雑収益	27	20,416	-20,389
受取利息	27	66	-39
雑収益	0	20,350	-20,350
経常収益計	3,051,337	1,342,210,293	-1,339,158,956
(2) 経常費用			
①事業費			
業務委託費	172,270,090	375,984,432	-203,714,342
諸謝金	0	116,682	-116,682
印刷製本費	990,840	2,814,843	-1,824,003
広報費	194,040	397,980	-203,940
会議費	340,992	688,096	-347,104
旅費交通費	2,192,669	12,157,068	-9,964,399
会場使用料	2,326,500	5,299,764	-2,973,264
通信運搬費	2,754,616	4,679,874	-1,925,258
消耗品費	10,120	244,041	-233,921
資料購入費	78,610	30,860	47,750
修繕費	0	1,059,186	-1,059,186
賃借料	114,400	1,269,785	-1,155,385
減価償却費		33,929,240	-33,929,240
保険料	91,834	359,620	-267,786
租税公課(事業)	3,089,691	3,106,400	-16,709
諸会費			0
研修費	42,000		42,000
手数料(事業)	82,000	465,227	-383,227
支払手数料(事業)	7,018		7,018
為替差損		3,734	-3,734
雑損失			0
雑費	160,952	484,575	-323,623
給料手当	21,625,196	31,836,829	-10,211,633
法定福利費	4,079,982	5,292,658	-1,212,676
人材派遣費	0	4,387,608	-4,387,608
事務消耗品費	1,080,173	1,592,922	-512,749
地代家賃	6,696,159	7,342,164	-646,005
・事業費 計(1)	218,227,882	493,543,588	-275,315,706
②管理費			
役員報酬	1,200,000	1,800,000	-600,000
給料手当	6,091,608	5,552,820	538,788
法定福利費	1,149,289	924,676	224,613
通勤費	1,735,078	1,659,172	75,906
福利厚生費	352,783	440,890	-88,107
人材派遣費		0	0
印刷製本費			0
会議費			0
旅費交通費	166,831	795,018	-628,187
通信運搬費	911,844	1,131,461	-219,617
事務消耗品費	364,217	365,209	-992
修繕費	209,704	65,373	144,331
水道光熱費	353,003	442,960	-89,957
地代家賃	2,257,841	1,683,336	574,505
新聞図書費	6,107		6,107
保険料		71,450	-71,450
諸会費	128,632	134,175	-5,543
リース料	3,223,164	2,978,804	244,360
租税公課	70,000	70,000	0
研修費	104,500		
支払手数料	178,816	316,199	-137,383
手数料	843,722	883,736	-40,014
雑費	525,649	493,877	31,772
事務所移転費	0	0	0
雑損失	1,980	826	1,154
・管理費 計(2)	19,874,768	19,809,982	-39,714
経常費用合計(1)+(2)	238,102,650	513,353,570	-275,355,420
当期経常増減額	-235,051,313	828,856,723	-1,063,908,036
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	-347,046,156		
経常外費用計	-347,046,156	0	0
当期経常外増減額	347,046,156	0	347,046,156
税引前当期一般正味財産増減額	-582,097,469	828,856,723	-1,410,954,192
当期一般正味財産増減額	-582,097,469	828,856,723	-1,410,954,192
一般正味財産期首残高	1,299,356,073	470,499,350	828,856,723
一般正味財産期末残高	717,258,604	1,299,356,073	-582,097,469
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	720,258,604	1,302,356,073	-582,097,469

正味財産増減計算書内訳表
2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	3,051,310	0	3,051,310
受取助成金	2,921,310	0	2,921,310
事業収益	130,000	0	130,000
② 雑収益	0	27	27
受取利息	0	27	27
雑収益	0	0	0
経常収益計	3,051,310	27	3,051,337
(2) 経常費用			
① 事業費			
業務委託費	172,270,090		
諸謝金	0		
印刷製本費	990,840		
広報費	194,040		
会議費	340,992		
旅費交通費	2,192,669		
会場使用料	2,326,500		
通信運搬費	2,754,616		
消耗品費	10,120		
資料購入費	78,610		
修繕費	0		
賃借料	114,400		
減価償却費	0		
保険料	91,834		
租税公課（事業）	3,089,691		
諸会費	0		
研修費	42,000		
手数料（事業）	82,000		
支払手数料（事業）	7,018		
為替差損	0		
雑損失	0		
雑費	160,952		
給料手当	21,625,196		
法定福利費	4,079,982		
人材派遣費	0		
事務消耗品費	1,080,173		
地代家賃	6,696,159		
・事業費 計（1）	218,227,882	0	218,227,882
② 管理費			
役員報酬		1,200,000	
給料手当		6,091,608	
法定福利費		1,149,289	
通勤費		1,735,078	
福利厚生費		352,783	
人材派遣費		0	
印刷製本費		0	
会議費		0	
旅費交通費		166,831	
通信運搬費		911,844	
事務消耗品費		364,217	
修繕費		209,704	
水道光熱費		353,003	
地代家賃		2,257,841	
新聞図書費		6,107	
保険料		0	
諸会費		128,632	
リース料		3,223,164	
租税公課		70,000	
研修費		104,500	
支払手数料		178,816	
手数料		843,722	
雑費		525,649	
事務所移転費		0	
雑損失		1,980	
・管理費 計（2）	0	19,874,768	19,874,768
経常費用合計（1）＋（2）	218,227,882	19,874,768	238,102,650
評価損益等調整前当期経常増減額	-215,176,572	-19,874,741	-235,051,313
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-215,176,572	-19,874,741	-235,051,313
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	-347,046,156	0	-347,046,156
経常外費用計	-347,046,156	0	-347,046,156
当期経常外増減額	347,046,156	0	347,046,156
税引前当期一般正味財産増減額	-562,222,728	-19,874,741	-582,097,469
当期一般正味財産増減額	-562,222,728	-19,874,741	-582,097,469
一般正味財産期首残高	1,289,700,477	9,655,596	1,299,356,073
一般正味財産期末残高	727,477,749	-10,219,145	717,258,604
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	727,477,749	-7,219,145	720,258,604

監 事 監 査 報 告 書

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

理 事 長 佐 藤 英 夫 殿

本法人の２０２３年度事業年度（２０２３年４月１日から２０２４年３月３１日まで）の業務及び財産の状況について監査を行いました結果、何れも適法かつ正確であることを認めます。

また、会計監査人西尾公認会計士事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上

２０２４年 ５月 ３０日

監 事 山田 恵一郎 ⑩

